

今月の農作業

今年も少しずつ春が近づいて参りました。雪解けが遅れると農作業も滞りがちになり、気持ちのゆとりがなくなてきます。早めに除排雪や農機具の始末をして、事故やけがの無いよう作業に当たりましょう。

果樹では徐々に剪定作業が始まっています。雪に埋もれた下枝の欠損が進みそうな状況です。まとまった雪の後に粉炭を散布しておく、雪のザラメ化が進み枝堀りも楽になるので、結果枝の保持のためにも積雪量が増える前の実施をおすすめします。また枝折れ被害が多い樹は樹勢が強くなるので軽めの剪定に留め、補強と傷口保護に努めましょう。(果樹試験場 雪害対策情報はこちら→)

水稲では今年から減反制度の実質廃止に伴い作付面積の規制がなくなつたものの、種もみの絶対量が乏しい状況です。作付面積を増やす場合には種子の確保を最優先しましょう。



3/1(木) 創立記念日 のため臨時休業致します

農業倶楽部通信

平成三十年 二月号

発行：農業倶楽部
よこて店
H30.2.28 vol.40

営業時間
8:30~17:00
定休日
土日・祝日

今月のおすすめ

箱処理剤(病害虫防除)

- ★箱大臣：嵐剤に代わる紋枯同時防除剤としておすすめ。(床土混和不可)
- ★フジワンプルテラ：いもち防除剤「フジワン」は稲本来の力を高め、病気に強く、ネハリの良い苗に仕上げます!

育苗培土 他

- ★収穫日和(野菜播種用)：有用微生物入り。健康的でガツリした苗に!
- ★軽量培土(水稲用)：従来培土の6割程度の軽さで体の負担を減らし、かつプール・折衷でも丈夫な株に育ちます!
- ★粉炭各種：育苗土混和や雪消し等に利用し、連作除けや土壌改良にも◎

進む遺伝子研究

1990年代、アメリカから輸入された大豆が遺伝子組み換えであることが物議を醸してから早20年超。今ではトウモロコシやジャガイモ等、厚労省が安全性を認めた遺伝子変換作物も増え、人々の当該作物への不安は時とともに薄れてきた。遺伝子研究は医学分野のみならず農業分野でも盛んで、病害虫や除草剤に強い作物を始め、最近では高収量が可能な水稲品種の研究に注目が集まり、茨城県つくば市では「ゲノム編集」と呼ばれる遺伝子書き換え技術で2割増収を狙った稲の初稲刈りも昨秋行われた。これが実用化すれば生産コストが下がり農家も喜ぶという仕組みだが、品種改良とは違い我々の意のままに遺伝子を操り都合の良い作物や強い生物を作り出す術を知ってしまった我々人類に、いったいどんな未来が待っているのか? 楽しみ
なような、怖いような...w



「こんなに楽しいの!?!」 カンタン除草術!



皆さんおなじみのカソロン粒剤は今やどこでも手に入る非農耕地用除草剤として有名ですが、実は農道にも使えるんです! 当社大仙支店にて農家さんを集めた散布実演会を開催した際にも楽に散布できると大変好評でした! ご自宅の肥料・農薬の散布器等でも散布でき、あらゆる雑草を長く抑えるのがカソロンの良い所! 雪解け後すぐお使い頂ければ、田植え後もしばらく除草いらず! 農作業の簡略化にぜひおすすめですよ!

◎散布量目安

畦畔(幅) → 距離(長さ)

30cm	→	1250m
50cm	→	750m
1m	→	375m
2m	→	188m

←写真と表はカソロン粒剤 4.5 の場合です。

★気になる今月のお天気★

2/24~3/23

東北日本海側は
平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
週別の気温は1週目は低い確率60%、2週目以降は高い確率50%の見込みです。

気温	20	30	50
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30
降雪量	40	40	20

■(平年)以下 ■並 ■高い(%)

掘り出し物情報!!



★編集者のつぶやき...

沸きに沸いた平昌オリンピック。時差が少ないことから私もテレビにかじりついて応援し、選手の活躍に一言一憂。寝不足の日々を過ごしました! しかし、あつという間に閉幕し現実に戻ってみると辺りは大量の雪雪雪... この雪が平昌に降ってくれたらお互いどんなに楽しかったでしょうね... (M)